

PICA Tower の点灯パターンをもとにもどす方法

マイコンのプログラミングなどを行った後、PICA Tower の点灯パターンをもとにもどしたい場合の方法、下記の手順で行ってください。

用意するもの

パソコン(インターネットにつながっているもの)

MPLAB X IDE

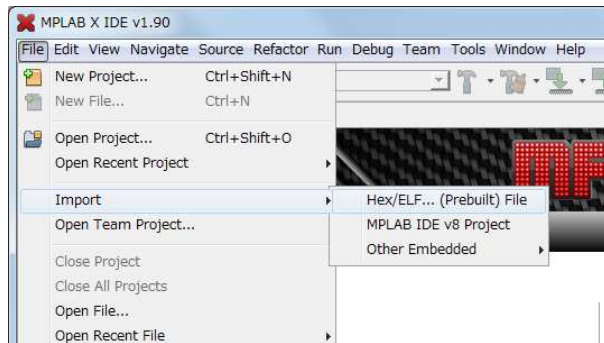
PICKit3

USB ケーブル

①エレキットのホームページから、PICA Tower の点灯パターンデータ『PICA_Tower.hex』をダウンロードします。

<http://www.elekit.co.jp/download/>にアクセスし、『PICA Tower 点灯パターンデータ』を『ダウンロードする』ボタンをクリックし、ご自分のパソコンに保存してください。パソコンのどこに保存したか控えておいてください。

②MPLAB X IDE にダウンロードしたデータを取り込みます。



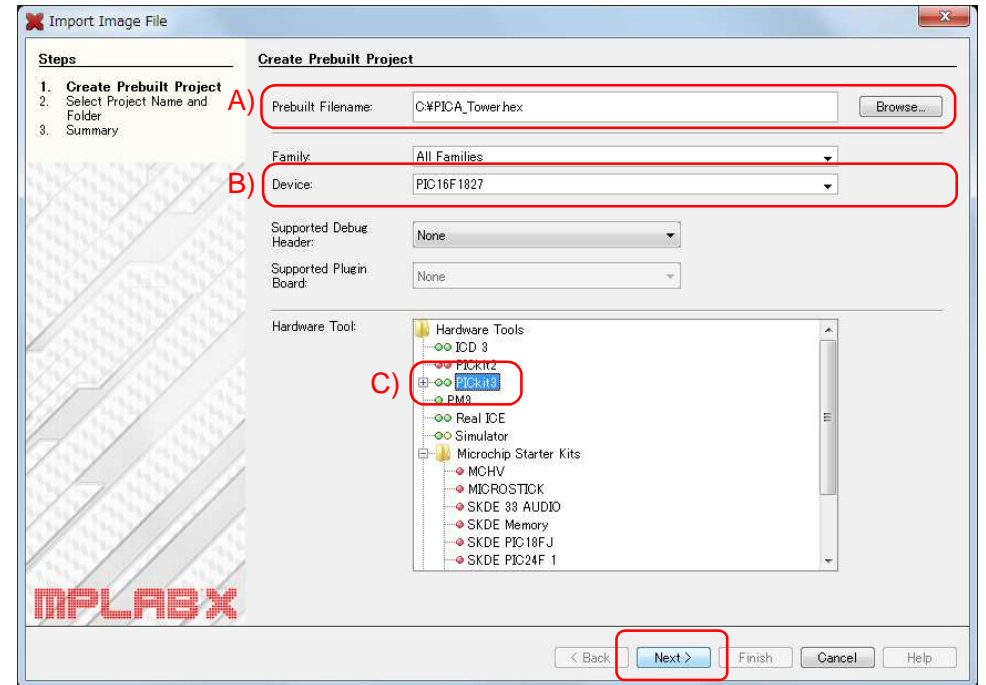
MPLAB X IDE を起動し、メニューの『File』→『Import』→『Hex/ELF...(Prebuilt) File』を選択します。

次の画面が表示されますので、

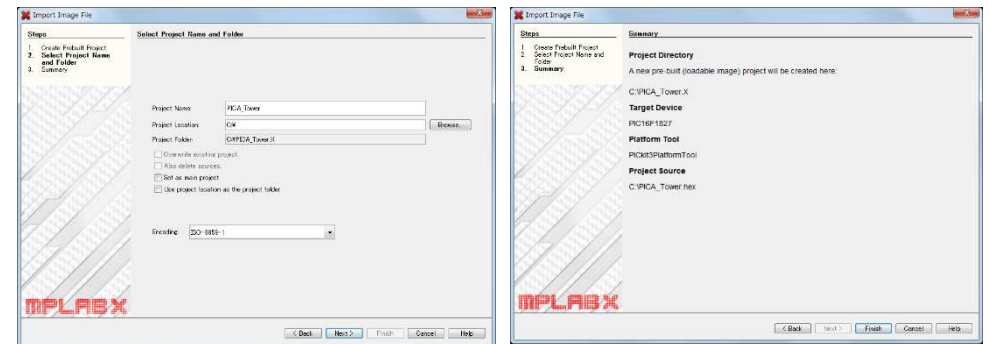
A) 『Prebuilt Filename:』で保存した『PICA_Towe.hex』を指定します。
『Browse...』をクリックすると選択画面が表示されますので、保存した場所を表示させ選択します。

B) 『Device:』で『PIC16F1827』を指定します。

C) 『Hardware Tool:』で『PICKit3』をクリックし選択します。



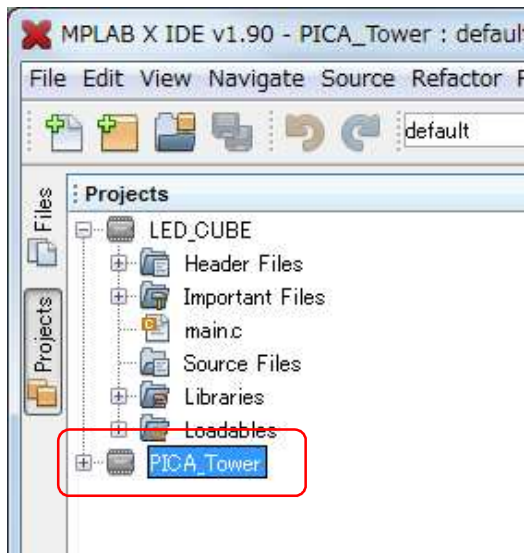
設定が終わったら『Next >』をクリックします。



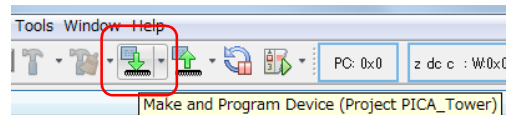
次の画面では『Next >』、その次の画面では『Finish』をクリックすれば、データの取り込みは完了です。

③マイコンにデータを書き込みます。

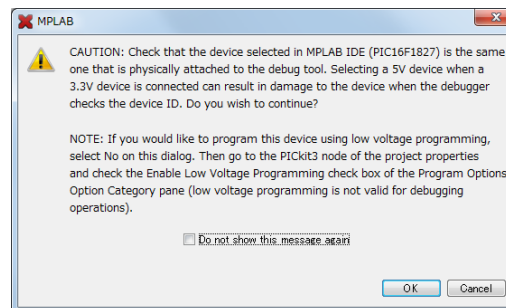
メニューの『Window』 → 『Projects』 を選択し、プロジェクトの一覧を表示させます。



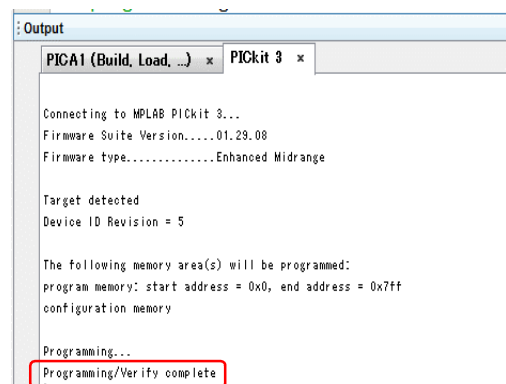
この時、過去に作成したプロジェクトも表示される場合がありますので、『PICA_Tower』をクリックし選択しておきます。



ツールバーの『Make and Program Device』 ボタンをクリックします。



左のメッセージが表示されます。これは電源についての注意を促す注意文ですが、問題ないので『OK』をクリックします。

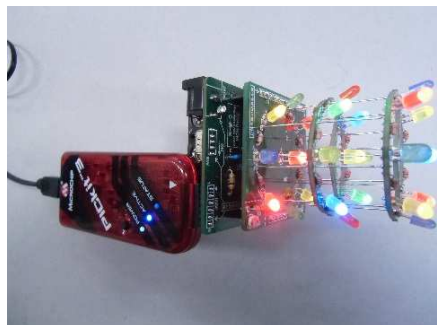


接続している PICkit3 の情報などが表示された後、マイコンへの書き込みが始まり、『Programming / Verify complete』 と表示されれば完了です。



PICA Tower の電源を OFF にして、スイッチの横にある『ICSP』端子に、PICkit3 を接続します。

この時、ICSP 端子の『▼』マークのピンに PICkit3 の『▲』マークの端子が来るように差し込みます。



差し込んだら、PICA Tower の電源を ON にします。すると現在書き込まれている点灯パターンで LED が点灯します。

④PICA Tower のスイッチを OFF にして PICkit3 をはずします。

これで PICA Tower の点灯パターンをもとにもどすことができましたので、電源スイッチを ON にして、点灯パターンを確かめてください。